国　本　地　区

Utsunomiya
Miyary since 2006

国本地域ビジョン

明るく活気あふれ
住みよい国本地区を
めざして

平成27年３月

国本地区づくり振興会
国本地域ビジョン策定委員会

平成27年撮影

目　　次

1　策定にあたって

(1)　国本地域ビジョンの策定趣旨 …… 1

(2)　国本地区のあゆみと展望 …… 2

(3)　地域ビジョンの位置づけ …… 3

2　国本地区の地域ビジョンの実行体制

(1)　地区づくり振興会と地域ビジョンのかかわり方 …… 4

3　各　論

Ⅰ　自然環境・生活環境 …… 6

Ⅱ　健康・福祉 …… 7

Ⅲ　安心・安全 …… 9

Ⅳ　健全育成・教育 …… 11

Ⅴ　歴史・文化 …… 12

Ⅵ　地域コミュニティ …… 13

4　ビジョン策定委員会の体制・検討経過 …… 15

5　国本地域ビジョン策定実施要領 …… 16

6　国本地域ビジョン策定委員会名簿 …… 17

「ビジョンの策定そして実現に向かって」 …… 19

◎アンケート調査報告書（概要） …… 20

明るく活気あふれ
住みよい国本地区をめざして

1　策定にあたって

(1)　国本地域ビジョンの策定趣旨

国本をこれからも「住んで・暮らして」いきたい地区とするため、地区を一番良く知っている皆さんと地区の将来を考え、話し合い、何をどうしたら良いかという方向性を見出して、自分たちの住んでいる国本地区の５年先10年先の未来の姿を見通すことが必要です。

国本の地区づくりを行っている国本地区づくり振興会では、地区行事や「輝く国本塾」などを通して、将来の国本地区をどのような姿にしていくべきかの議論を踏まえ、今後の地区の目標や指針となる「地域ビジョン」を作ろうという意見が出され、策定への機運が高まったことから、その準備を進めてきました。

このような中、地区づくり振興会内に平成25年３月地域ビジョン策定委員会を組織し、３つの部会を設けて策定に取り組むことになりました。

国本地区は、農村地域と住宅地域が混在し、地域ごとに生活環境の変化や違いが大きくなっています。

このような状況に対応し、子どもたちがいつまでも「住みつづけていきたい」国本地区を目指して、将来のまちづくりを作り上げていく必要があるのではないかと考えました。

ここに地区内の皆様のアンケート結果や各種団体等の意見を踏まえ、地区の総意として、今後のまちづくりの方策をまとめ、地域ビジョンを策定しました。

ビジョンに載せた地区の計画が確実に前進し、より住みよい地区になるよう、地区の人々みんなが一丸となって協力し合い、地区づくりに取り組んで行きましょう。

「地域ビジョン」＝

「住んでいるみんなが願う地域の未来のすがた」

(2)　国本地区のあゆみと展望

○　地区のあゆみ

「国本」は、明治22年４月の町村制施行と同時に宝木村・戸祭村上組・野沢村・岩原村・新里村の近隣５か村が合併し誕生しました。

その後、昭和29年11月の「町村合併促進法」により、宇都宮市と合併し、「新里町」、「宝木本町」、「岩原町」、「野沢町」の４つの行政地区をもって「国本地区」と称され現在に至っております。

当時から、自然豊かな地域でありましたが、近年市街地において、住宅地の開発が進み、北西部地区の農村部と、中央から南部へかけては住宅団地が増えるなど、生活環境が大きく変化してきています。

○　地域の展望

国本地区は、市の中心部から北西に約７㎞に位置し、東西約4.2㎞、南北約7.2㎞、総面積24.55㎢の人口約１万４千人の細長い地域です。

地区内の主要な交通路である日光街道・国道293号・県道などの整備は進んでいますが、生活に密着する生活道路の整備や商業施設、就労場所など住む人の生活に大きく影響する施設等の立地は進んでいない状況です。

地区の南東部の市街地においては、現在も新たな住宅地が形成されるなど人口は増えています。

また北西部においては高齢世帯が増加し、人口は横ばいか減ってきている状況となっていますが、水田や畑などの農業生産地域でもあり、水稲や新里ネギ、ハウスを利用したイチゴやトマトなどの生産が行われており、豊かな自然環境が残っています。

今後は、現存する多様な資源を活用した取組みや、「人」という資源の育成や活用（人づくりとリーダー育成）をしながら、地区づくりを展開していく必要があります。

これにより、みんなが安心して愉快に楽しく暮らしていける地域となっていくものと思われます。



北西部



南東部

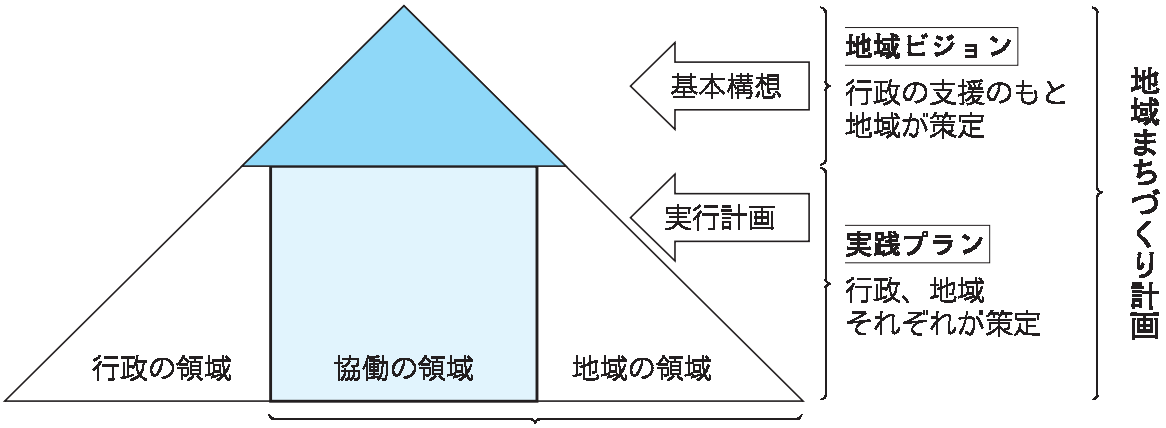
(3)　地域ビジョンの位置づけ

目標年次

策定年次から10年後（平成37年）の地区のあるべき姿を目標とします。

地域ビジョンは、地域と行政の協働によるまちづくりを推進するために、地域が、行政と協力・連携しながら、地域の意思として作り上げるものです。

また、基本構想である地域ビジョンを実現化するための実践プランについては、地域と行政それぞれの役割に基づいて策定することとなります。



＊行政は、地域の目指すべき姿を尊重し、その実現に向けた地域の主体的な取り組みを支援する役割を担います。また、地域の目指すべき姿を共有し、全市的な視点や市を取り巻く社会状況などを総合的に勘案し、意見交換を行いながら、地域との協働により取り組みを進めます。

これまで国本地区づくり振興会は、地域の皆さんや各種団体と様々な課題や問題について、話し合いや知恵を出し合い解決に取り組んできました。

これからは、本ビジョンを基本として地区づくりを行っていきます。

また、めまぐるしく変化していく現状を踏まえながら、改定や見直しの時期の到来や新たな取り組みなどが生じた場合には、このビジョンにとらわれず、それまでの内容を検証し、見直しをするものとします。

2　国本地区の地域ビジョンの実行体制

(1)　地区づくり振興会と地域ビジョンのかかわり方

地区づくり振興会には、総務・企画部会をはじめ７つの部会が組織されています。
また各部会には地区の各種団体が所属し、様々な事業を実施しています。
今後は、各団体の事業と地域ビジョンでの事業計画の整合を図り、事業の拡充や見直しを地域一丸となって取り組み実施していくこととします。

地区のイメージ

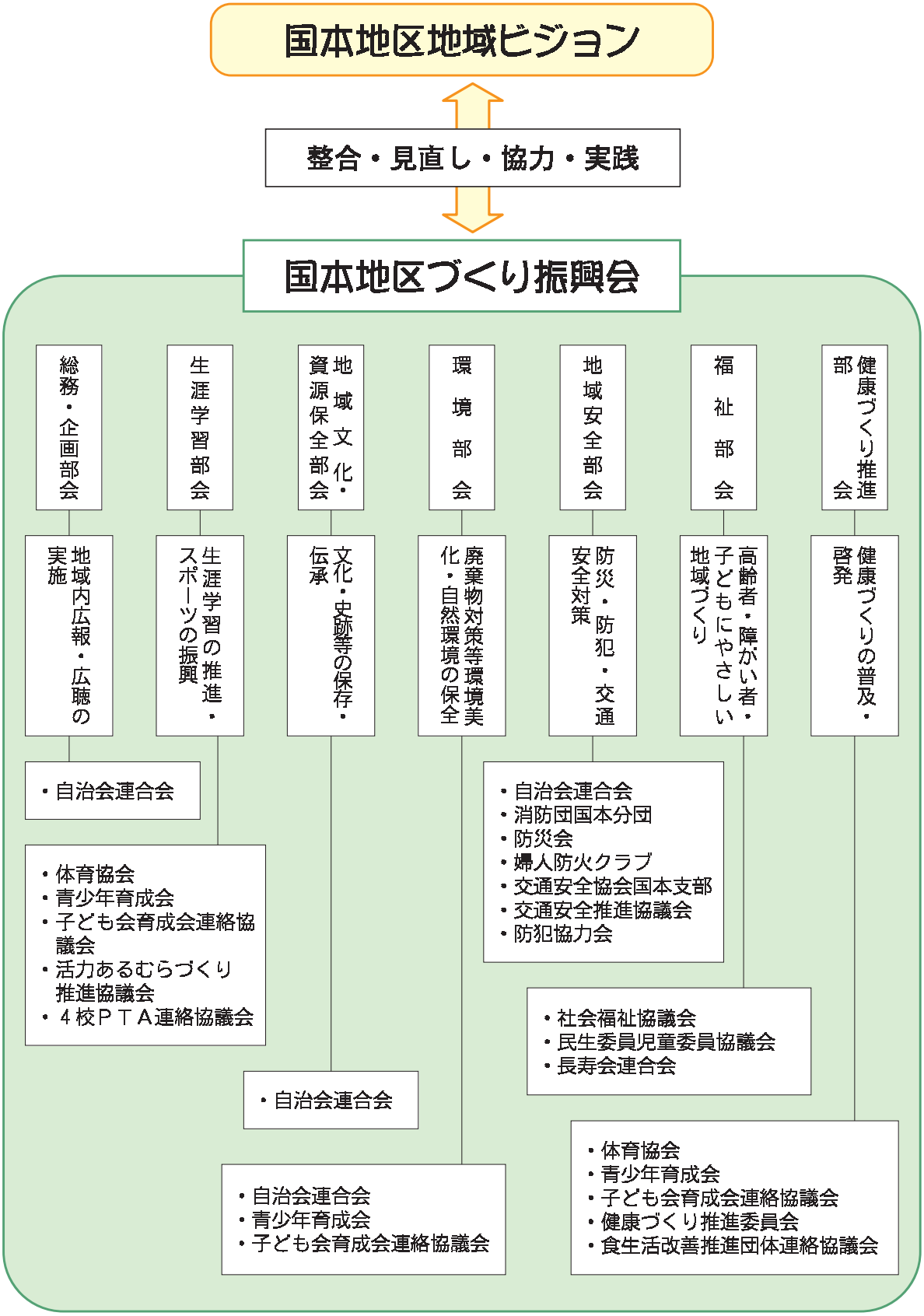
Ⅰ　自然環境・生活環境　⇒　**心豊かな暮らし**
Ⅱ　健康・福祉　⇒　**みんなで快適な暮らし**
Ⅲ　安全・安心　⇒　**安全な暮らし**
Ⅳ　健全育成・教育　⇒　**特色ある教育、文化のある暮らし**
Ⅴ　歴史・文化　⇒　**歴史、文化の薫る心豊かな地域**
Ⅵ　地域コミュニティ　⇒　**みんなの気持ちが通じ合う地域**

※　各論については、地区のイメージを上記の６つの項目ごとまとめました。



栗谷沢ダム

○　地区づくり振興会と地域ビジョンのかかわり方



3 各　論

Ⅰ　自然環境・生活環境　⇒　心豊かに暮らしましょう

《地域の声》

- 豊かな自然を利用したい
- 不法投棄の無い地域にしたい
- 憩う場所がある地域にしたい
- 人にやさしい生活環境のある地域にしたい

《方向性・考え方》

○　地域にある豊かな自然（環境）を維持できるよう

- →　豊かな自然を大切にし、そして活用しましょう
- →　景観を保全しきれいなまちをつくりましょう
- →　地域住民が憩える場所をつくりましょう
- →　地域のよいところを使って楽しいことを始めましょう



静桜（しずかざくら）

○　人にやさしい生活環境になるよう

- →　誰にでもやさしくそして安全な環境をつくりましょう

《事業計画》

- 生き物調査等を実施し、生き物が住む自然環境の保全を進めます
- ほたるの舞う里づくりを進めます
- 河川や湖沼・里山などの環境を地域が中心となり保全していきます
- 農資源を活用した取り組みを検討します
- 地域の清掃活動等に、住む人が参加する取り組みを推進します
- 山間部に不法投棄された粗大ごみや産業廃棄物を撤去し、あわせて投棄されないための取組みを進めます
- 地域ぐるみで静桜の植栽や河川の源流や湖沼の整備などを行い、地域景観づくりを進めます
- 遊休地等の管理など、地域が出来ることを検討します
- 地域内交通の利用増進を図ります
- 自転車が安全に利用できる対策を進めます
- 交通安全の啓蒙や事故の無い道路の整備促進を管理者へ働きかけます

Ⅱ　健康・福祉　⇒　快適に暮らしていきましょう

《地域の声》

- お互いに健康でいられるような取り組みを希望したい
- 明日を楽しい気持ちで暮らせる地域にしたい
- この地域はいいところだとみんなに教えたい
- みんなで支えあい、暮らしやすい地域にしたい

《方向性・考え方》

○　誰もが健康で快適に安心して暮らせるよう

- → 地域ぐるみでみんなが健康でいられるようにしましょう
- → 誰もが生きがいをもって暮らせるようにしましょう
- → 地域の良いところをアピールしましょう
- → 子育てを支えあう、場所をつくっていきましょう
- → 誰でも暮らしやすいよう助け合いましょう

《事業計画》

- 福祉に関する情報提供の機会をつくります
- 長寿会など高齢者の集まる機会を地域的に広げていきます
- 国本地区の健康づくり推進活動や食生活改善事業を活発にして、地域の健康を見守る拠点づくりを推進していきます
- 生活習慣病の予防対策（運動・食生活改善・健康相談）を支援します
- 健康づくり事業（運動・ウォーキング・自転車）等を推進します
- 地域の文化を次世代に伝える活動を進めます
- 地区広報等を充実し、良いところのＰＲに努めます
- 高齢者の経験や知恵を後世に活かす「生きがい事業」を計画します
- 年代間の交流を増やす機会として交流事業や支援などを検討します
- 国本地区ボランティアネットワーク等助け合いの仕組みを考えていきます
- 公共交通（バス）利用を促す運動をすすめます
- 交通弱者を地域で支援していく仕組みづくりを検討します



地区敬老会



くにもとふれあい号



西弁天沼

Ⅲ　安心・安全　⇒　安全な地域にしましょう

《地域の声》

- 犯罪が起きない、起こさない、犯罪に巻き込まれない安心な地域にしたい
- 交通事故の起きない地域にしたい
- 防災の意識の高い地域にしたい
- いざという時のために絆が強い地域にしたい

《方向性・考え方》

○　災害・犯罪による被害のない暮らしができるよう

- → 防犯意識の高い地域づくりをしましょう
- → 交通事故のない地域にしましょう
- → 防災へのこころがまえをいつも持ちましょう
- → 過去の大規模災害や被災地から学び、防災に対する個人や地域団体の意識のつながりを強くしましょう
- → 安心して暮らせる仕組みづくりをしましょう

《事業計画》

- 児童の登下校時見守活動などの事業を展開していきます
- 防犯マップの作成を進めます
- 犯罪者に狙われない地域にするため、森林の下草刈りなど危険箇所の環境整備事業を行ないます
- 防犯灯設置を推進するため、自治会等へ仕組みを周知します
- 防犯情報を発信する仕組みをつくります
- 事故を防ぐため、危険箇所のリストアップやマップづくりをします
- 住宅地内の交通安全対策を検討し、関係機関への働きかけを行ないます
- いざというときに備え、地域ぐるみの防災意識を高め、災害時要援護活動を推進します
- 防災に係る情報発信を進めます
- 地域全体の防災訓練を実施します
- 防災マニュアルの作成や自治会単位での「防災訓練」の実施を支援します



交通安全活動



地区防災訓練



地域清掃活動

Ⅳ　健全育成・教育　⇒　特色ある教育・文化をつくりましょう

《地域の声》

- 地域も学校も一緒になって暮らしていきたい
- スポーツの盛んな地域にしたい
- 地域の良いところを学んで，伝えていきたい

《方向性・考え方》

○　地域・学校間の交流を盛んになるよう
- → 学校の存続問題を地域みんなで考えましょう
- → 子育て世代の人たちが住みやすい環境をつくりましょう

○　子どもとおとなのつながりが強くなるよう
- → 小中学生の体力やスポーツ力が高くなるよう協力しましょう

○　地域の人と一緒になって
- → 地域の大切さを学ぶことを増やしましょう
- → 昔から伝わる地域の文化を伝えていきましょう
- → 自分の住む地区を知っていくための方法を考えましょう

《事業計画》

- 学校の存続など課題を地域協議会や関係機関等と共通認識を持ち、話し合う場をつくります
- 学校を地区全体で支援できる体制を検討します
- 児童が伸び伸びと好きなスポーツができる環境づくりへの支援をします
- 地域の行事へ積極的に参加できるよう、地域住民・学校（児童生徒）間の交流を進めます
- 子どもを地域が見守る「ななめの関係」事業に取り組みます
- 国本リーダースクラブなど、自発的なボランティア活動及びリーダーの向上を支援します
- 子育てや教育への地域での支援を検討します
- 地域の青少年の交流活動を進めます
- 学童の集まる居場所づくりを検討します

国本中学校　国本西小学校　国本中央小学校　晃宝小学校

Ⅴ　歴史・文化　⇒　歴史・文化を大切にしましょう

《地域の声》

- 文化や伝統を無くしたくない。また昔の行事を復活させたい
- 文化財を利用して健康づくりをしたい
- 地元の祭りや行事に参加したい
- ジャパンカップに地域で参加したい

《方向性・考え方》

○　歴史豊かで文化財を活用し、地域がにぎやかになるよう

- → 地域の文化を活用した行事に参加して、伝えていきましょう
- → 健康づくりにも役立てていきましょう

《事業計画》

- 自然や文化財を見聞・体験するためサイクリングやウォーキングの環境づくりを進めます
- 地域内行事の見直しや盆踊りやどんど焼きなどの地域行事の復活を検討します
- 新たな地域資源の掘り起こしと活用を進めます
- 地域内の歴史、文化（宗円獅子舞、静桜など）の周知を進めます
- 凧揚げ、門松づくり、七夕等、地域文化を保存し伝え残していきます
- 次世代の人たちが地域行事へ積極的に参加できるような方法を検討します
- ジャパンカップサイクルロードレース等地域外のイベントを利用した活性化を進めます



宗円獅子舞

Ⅵ　地域コミュニティ　⇒　お互いに心通じ合い仲よくしましょう

《市民の声》

- 隣近所となかよくしたい
- 自治会の良さをＰＲして加入してほしい
- お互いに支えあう地域にしたい
- 災害があったとき、不安
- 地域のことをよく知りたい

《方向性・考え方》

○　つながりあいと地域内の隣近所とのきずなを深めるよう

- → つながりあいの気持ちが持てるよう働きかけをしましょう
- → 自治会活動がみんなわかるよう情報を周知しましょう
- → 地域のことをみんなで知りましょう

《事業計画》

- 地域間交流と地域内交流を積極的に行い、住みたい地区の実現と魅力を発信します
- 災害時における自治会の役割の周知をします
- 人のつながりを大切に思える地域活動を進めます
- 情報発信のツールの多様化による手法を構築します
- 地域内外・外国人の観光者の取り込みによる地域活性化を検討します
- 地域活動への地域住民の関心を高める活動を進めます
- 地域コミュニティの良さを周知していきます



れんげまつり

実現に向け、地域で行うことは

1　地区の関係機関が実施している行事や事業との整合を取ること（既存事業との調整）

2　実施計画を策定し、計画的に事業を行うこと

3　ビジョンに掲げる計画がスムーズに実現していけるよう、関係機関等への働きかけを地区一丸となり行っていくこと

4　地域のみんなが同じ目標を持ち、ビジョンの事業を進めること



くにもとまつり